

熊本大震災の被災者の方々に心よりお見舞い申しあげます。

日本の息吹

兵 庫 版

第百八十二号平成二十八年十一月二十二月号
日本會議兵庫縣本部事務局
六五〇〇〇二五 神戸市中央区多聞通二二一
兵庫縣神戶市内 〇七八三三七一―二四五
FAX 〇七八三三七一―一六〇一五
ホームページ <http://nipponkaighyo.jimdo.com>
nipponkaighyo@gmail.com

西村幸祐氏「日本人に「憲法」は要らない」のご紹介

今年の八月十五日に米副大統領はこう言った。日本を封じ込め、属国にしておくためだ。

〔兵庫奉迎〕報告
秋篠宮同妃両殿下、敬老の日制定五十周年式典で多可町へ御成りになる

九月十五日（木）、敬老の日制定五十周年記念式典が、多可町のまち多可町ベルディホールで行われ、西脇市と多可町、附近の支部、所前部、篠宮同妃殿下の御参りにあつた。幕の日のため、つた小旗をのつた北播磨支部の役員や、元有志の皆さんも皆、

式典は午後一時開式。井戸知事の先導で両殿下が式場にお出ましになると出席者は大きな拍手でお迎えしました。井戸知事、戸田多可町長の挨拶のあと、秋篠宮殿下が「敬老の精神を次の世代へとお言葉を述べられました。お帰りの際も、同場所でお見送りしました。車も徐行され、手を振っていただきました。」
(文責：北播磨支部 運営委員長 河原淳)

去る九月十八日、東播磨支部にて総会および記念講演として西村幸祐氏の「日本人に憲法は要らない」が行われたが、今回は好評だった氏のブログや精力的な発信をよび、ネットのご紹介をさせて頂き、ご覧になれる方はそちらをみて頂きたい。

「日本には「改憲派」と「護憲派」という勢力がある。それが異常な事態である。まず、その思考の枠組みを壊すことからはじめないと、憲法を自由に語れない。そんなことを本書で知ってもらうたい、と述べている。

「バイデン副大統領は、日本の憲法は、日本に核保有させないよう我々が作った」

また、同書の冒頭、「前文ばかりではない、当用憲法の各条項はすべて同様の死文の積みです。こんなものをつ信じたり、有り難がつたりする人は左右を問わず信じる気にはなれません。」(福田恒存「当用憲法論」)を掲げている。(編集部)

安倍首相「憲法審の改正議論の深化を！」 年末迄に憲法改正賛同者拡大(自主目標30万)を達成しよう！

さ元部議つの幕の殿篠所磨附多西れまのべルまが年制定日敬
さん有会北た小とたのたの宮宮前支近可西脇
んと志員播日旗日の日ののの同妃、事務播境と
とも皆地支会持丸横迎両秋務播境と



三笠宮殿下の薨去に心より哀悼の意を表します。



「憲法」は要らない
西村幸祐
あなたには護憲派? 改憲派?
あなたには護憲派? 改憲派?
あなたには護憲派? 改憲派?

参考〈JC兵庫〉報告
憲法タウンミーティング
百地章氏・銀シャリ(お笑い芸人)・吉木誉絵氏

美しい日本の憲法をつくる兵庫県民の会」にご協力いただく日本青年協議会(JC)近畿地区兵庫ブロック協議会主催の憲法タウンミーティングが九月十八日神戸大学キャンパス内の出光佐三記念六甲大講堂にて開催。

由緒ある会場にて、小雨の天候ながらJC関係者を中心に青年層が約三百名集まり、JCらしい伸び伸びと意見が闊達に飛び交う会が実現した。ゲストが、憲法学者百地章氏に、人気お笑い芸人の銀シャリ、神職資格を持ち古事記のオリジナル曲をパリで公演し、女優、朝まで生テレビに出演するなどマルチな活躍の若手吉木誉絵氏が

出演。憲法に予備知識のない素人代表としての銀シャリのアドリブトークや素朴な質問に会場はリラックスした空気で議論が進められた。

銀シャリの「そもそも戦後七十年も経つのに、いつまで僕らの時代になつても戦後が続くんですか?」との質問に、吉木氏が「私たちの手で憲法を改正する時、戦後が終わるんです。」とのや



今、現行憲法に向き合う姿が真つ直ぐに本質を突き、印象的だった。なお、参加者の方から百田尚樹氏DVDの上映協力金十五口を頂いた。(事務局・S)

お知らせ

憲法タウンミーティング
神戸
日時 十一月二十三日
(祝)午後二時
兵庫中央労働センター
コーディネーター
松岡篤志氏(憲法をつくる会)
登壇者
谷 公一氏(衆議院議員)
杉田水脈氏(元衆議院議員)決定
長谷川司氏(イデオロギア研究会)決定
有本明弘氏(拉致被害者の会)

建国記念の日を祝う会
二月十一日(祝)十三時
過ぎ 神戸会場 講師に
占部賢志先生が決定
式典・パレード等を企画
中
姫路会場 午前九時
講演企画 中 建国祭

編集後記
九月三十日
放送の「朝
は「天皇」が
で「天皇」が
は「天皇」が
天皇家の
前日、皇位
を譲り、現
法の下、現
憲法の下、
過半数の
また、憲法
の「主権は
国民に在り
た」という
のが、一印
の「主権は
国民に在り
た」という
論議が、左
論議が、左
は「主権は
国民に在り
た」という
論議が、左
組にきりな
つ

- 十一月以降の日本会議関係行事
- 9月13日(火) 阪神北支部総会・学習会 ピピアめふ5階A会議室 偏向教育
- 9月18日(日) 東播磨支部講演会 西村幸祐氏「日本人に『憲法』はいらない」日岡神社参集殿
- [参考]9月18日(日) JC兵庫憲法タウンミーティング 神戸大出光佐三ホール ゲスト/百地章氏・銀シャリ(お笑い芸人)・吉木誉絵氏
- 10月21日(金) 淡路島支部「全国戦没学徒追悼祭」若人の広場
- 10月29日(土) 日本会議兵庫支部主催「日本の誇り」 多久善郎氏「永遠の武士道」三田市駅前一番館
- 10月30日(日) [後援]兵庫祖育の会主催 神戸本住吉神社社務所
- 10月31日(月)午後 日本会議近畿ブロック大会 ホテルグランビア和歌山
- 11月2日(水) 姫路護国神社秋季慰霊大祭 / 6日(日) 神戸護国神社秋季慰霊大祭
- 11月3日(祝) 神戸護国神社清掃奉仕活動 お茶とおむすび 以上終了
- 11月19日(土)18時~[共催]イージズ護衛艦あご後援会 西宮・なでしこ大ホール 自衛艦隊司令官 道家一成元海将 潜水艦隊司令官 中尾誠三(元)海将 会費五千円 申込 11月11日必着 j-maenaka@cosmos.ocn.ne.jp FAX 078-903-2118
- 11月23日(祝・水)14時 憲法タウンミーティング in 神戸 兵庫中央労働センター(300名)参加費千円 コーディネーター/松岡篤志氏 パネリスト/谷 公一氏・杉田水脈氏・長谷川司氏・有本明弘氏 kenpoukaiseihoyo@gmail.com FAX 078-411-7388 (前回案内の11月13日より日時、会場が変更になりました。)
- 2月11日(祝・土)9時~ 建国記念の日を祝う会 姫路会場 白鷺宮・姫路護国神社 講演企画 中 祭典 13時~ 同祝う会神戸会場 けんみんホール 講演 占部賢志先生(中村学園) 音楽隊(予定)式典・パレード

第二十二回全国戦歿學徒追悼祭 齋行

全国戦歿學徒を追悼する會

快晴の好天に恵まれ、

十月二十一日の午前、

戦歿學徒記念「若人の

廣場」(南あわじ市阿

万大見山)に於いて、

全国戦歿學徒追悼祭が

齋行された。大東亜戦

争で戦地又は軍需工場

等に動員され亡くなら

れた、二十萬人余の學

徒の御靈を慰靈するた

め建立された同廣場に

て、終戦五十年を迎へ

た平成七年から齋行さ

れ今年で二十二回目と

なる。昭和十八年十月

二十一日に東京・明治

神宮外苑陸上競技場で

出陣學徒壮行會が開催

された故事に因んで、

毎年十月二十一日に開

催してゐる。

諸般の事情により平

成七年より閉鎖されて

目を迎へてゐる。

追悼祭では近畿各地

より参加した青年神職

が祭典を奉仕し、永田

秀一會長と兵庫縣知事

(代理)が追悼文を奉

讀し、海上自衛隊徳島

教育航空群徳島航空基

地隊の「悲しみの

譜」「國の鎮め」「水漬

く屍」三曲が吹奏され

た。次いで山口縣・朝

田神社宮成眞澄權禰宜

と森重香菜美さんによ

る、香淳皇后より賜は

った御歌による「みた

ま慰めの二人舞」を奉

奏、尼崎市・福田寺楨

尾亮順住職他による般

若心經讀經、キリスト

の幕屋の方々による讚

美歌「わがやまどのく

に」「海ゆかば」奉唱な

ど、教義宗派を超へ多

ご奉仕戴く神道青年會

を代表して神道青年全

國協議會の長友安隆會

長と、第一回の追悼祭

から有志としてご協力

今年四月に熊本地震

にて被災した

熊本の城壁

も、必ずやこ

の若人の廣場

の石垣の様に

復興を迎へる

ことであるう

と、ここに参

列させて戴き

確信致しまし

た。」と語り、

平成二十年に

九州地区の神

道青年會が荒

廢した廣場の

現状を憂ひ、

同廣場のペン

先の慰靈塔の

努力によって、荒廢し

長く閉鎖されていた若

人の廣場が、このよう

に復興することが出来

たのは『麗しき現代の

奇蹟』だ」とご挨拶させ

ていただきましたが、

今年四月に熊本地震

にて被災した

熊本の城壁

も、必ずやこ

の若人の廣場

の石垣の様に

復興を迎へる

ことであるう

と、ここに参

列させて戴き

確信致しまし

た。」と語り、

平成二十年に

九州地区の神

道青年會が荒

廢した廣場の

現状を憂ひ、

と述べられた。

式典の後、ホテルニ

ューアワジ・プラザ淡

路島に會場を移して總

會を開催。今迄で最多

の一八〇名余りの参加

者で會場は満席となつ

た。明年の第二十三回

追悼祭を縁故の日であ

る平成二十九年十月二

十一日(土)に齋行す

ることなどを採択し、

日本會議三木英一會長

の發声により参加者一

同で學徒の御靈に献盃

を行つた。

今年も多くの有志が二

相集ひ、その輪は大き

く擴がった。「行く末

の礎とならん」と散華

された學徒の御靈を追

悼し、平和のうちに暮

らしてゆけることに感

謝しつつ、さらなる平



高円宮妃殿下奉迎

日本会議兵庫神戸支部(準)

去る十月十五日、第二

十八回住生活月間中央イベントスーパーハウジングフェアミ兵庫合同記念式典にご臨席およびご視察のため、高円宮妃殿下が、兵庫県に御成りになりました。

国土交通省では、国民の意識の向上を図り、豊かな住生活を実現するため、



毎年度十月を 住生活月

間」と定めて総合的な啓発

活動を展開。官民協力の

下、シンポジウム、住宅フェ



ア等を通じて国民の住生活の向上に役立つ様々な情報を提供しています。

妃殿下には、十四日

にまず、東灘小学校、竹

中大道具館をご視察に

なり、翌十五日、上記式

典にご臨席になりました。

東灘小学校前では、のべ

四十名ほどで、日の丸小旗

奉迎を行いました。笑顔で

手をお振りになる殿下の

お車が、通りすぎると、さ

つとさわやかな空気になっ

つた感じがしました。

翌日の新聞では、東灘小学校で、住宅と地震についての授業をご覧になられたとの報道がありました。

その二週間後、三笠宮殿下の薨去の悲しいお知らせがあり、県庁に連絡しましたが、記帳は京都でと言われました。宮様の扱いについて疑問の残る対応を感じて複雑な思いとなりました。

多久善郎氏講演会

日本の誇りセミナー「永遠の武士道」語り伝えたい日本人の生き方



去る十月三十日、三十一

日と、三田市、神戸市東灘

(住吉)で、多久善郎氏の講

演会「日本の誇りセミナー

―(永遠の武士道)―語り

伝えたい日本人の生き方

―が開催された。

自身の大学時代の頃、吉

田松陰先生の書に出会い、

立志、大学闘争、武士道、

先人に学びつつ、四十年の



求道の中で、折々に学んだ宮本武蔵、多くの先人、また烈婦の生き様と言葉を自ら纏めた書を引用しながら、講演がなされた。

参加者は、講師の言葉と、歴史人物、そしてそれぞれの人生を重ね合わせかのようにな、熱心に話に聞き入っていた。(「永遠の武士道」(明成社 定価千八百円+税))